

令和 8 年 10 月吉日

保護者の皆様へ

瀬戸市教育委員会

生成 AI(Gemini)の導入と活用ロードマップについて

保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、社会全体で生成 AI(人工知能)の技術が急速に普及しており、将来、子どもたちが社会へ出る頃には、生成 AI を適切に活用する力が重要となると考えられています。

これを受け、瀬戸市教育委員会では、文部科学省のガイドラインに基づき、市内の全市立小中特別支援学校において、既に学校で活用している Google Workspace for Education の管理環境の中で、安全性や管理機能に配慮した運用が可能であることから、教育用生成 AI として Gemini(ジェミニ)を段階的に導入することを決定いたしました。

【段階的導入の概要】

- ・第 1 段階:教職員による校務利用・教材研究での活用
- ・第 2 段階:授業での試行的活用
- ・第 3 段階:児童生徒による学習活動での活用(生成 AI の使用は原則小学校5年生以上)

【本市の基本方針】

本市では、生成 AI を単なる「答えを出す道具」ではなく、自律的な学びを支える「思考のパートナー」として位置づけます。

また、家庭での利用が先行している実態を踏まえ、学校では「批判的思考(ダブルチェック)」と「自分自身の成長のための活用」を重視した指導を行います。

【活用と指導のロードマップ】

■導入期(小学校 1～4 年生)

【教師による提示(児童は操作しない)】

- ・生成 AI によるアイデア出しのデモ
- ・生成 AI の仕組みの理解(身近な例を通して)
- ・生成 AI は万能ではないことの理解

■活用期(小学校 5・6 年生)

【限定的・指導下の利用】

- ・調べ学習の補助
- ・ダブルチェックの体験(生成 AI の誤りを検証)
- ・対話を通じた思考の広がり

■自律期(中学生)

【主体的・自律的な活用】

- ・多角的な視点の獲得
- ・構成案や思考整理への活用
- ・情報の信頼性を評価する力の育成

【安心・安全な利用環境の整備】

- ・データ保護:入力内容は生成 AI の学習に使用されません
- ・有害情報対策:不適切な内容は制限されます
- ・管理体制:教育委員会および学校による監督

【指導における重点事項】

- ①情報の正確性の確認(必ず他資料で確認)
- ②個人情報の保護(入力しない)
- ③著作権の理解(丸写し禁止)

【保護者の皆様へのお願い】

ご家庭においても、生成 AI の利用について話題にいただき、「自分で考えることを基本とした活用」についてご確認ください。

家庭での利用においても、学習の補助として適切に活用されるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

【今後の運用】

- ・技術の進展や活用状況を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

【問い合わせ先】

瀬戸市教育委員会 教育政策課(GIGA 担当)または各学校までお問い合わせください。